

令和7年3月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す 住 み よ い げん き な みどり 緑 の さと おお くさ の 郷 大 草 野

いよいよ卒業間近 お別れ登山：みんなの思い出を・・・(3月7日：金)



6年生最後の行事、いい天気になってよかったね！

当初予定の3月4日の予定が、別れを惜しんで雨が降り、7日の金曜日に延期になりました。よく晴れたのですが、空気中には大量の花粉が舞っていました。そして、それまでに結構な量の雨が降っていたので、山の斜面が滑ることが予想されます。

最近の大草野周辺の山は、枝打ちなどがされておらず、山肌まで太陽光が届かなくなっているのなかなか乾きません。

五代公民館での出発式では、田中会長から、ケガの無いように注意することと、思い出に残る楽しい登山にしてください、と挨拶がありました。登り始めると、思ったとおり山中の土は濡れていて注意が必要です。

私自身は、最後尾からついていきましたが、漏斗岳の看板がある入口で、いきなり“何かに”つまづいて転びそうになりました。辺りを見回し、誰にも見られていなかったのを確認して前に進みます。

今回、万才の田中嘉靖さんが久しぶりに漏斗岳に登りたいと参加されましたが、手土産のコモリダ饅頭を、さっそく頂上で6年生に配り、みんなで食べました。田中さん、有り難うございました。頂上で食べるとさらに美味しかったです。(大人が数人、息を切らしていた人が、食べきれずにいましたが・・・)

昨年掲揚した旗は、今回は下払いのときに外さずにいしたので、下の写真のように、新旧の旗を並べて、記念写真を撮りました。去年の卒業生の記念にして欲しいと思います。



先輩たちの旗も一緒に、パチリ！

下山してから、最後に山口潤弥君が代表して、コミュニティや保護者へお礼の言葉を言うてくれました。

頂上付近の木が大きくなり、麓が見えにくくなってきましたので、その解消が今後の課題になりそうです。お疲れ様でした！



じゅん君、こちらこそありがとう！

6年度最後 雨になった 校区内一斉清掃 (3月2日:日)

少なくとも、2月中にずっと居座った寒波は遠のいてくれて、朝もスツと起き上がることができました。でも、外から雨音が聞こえてきます。雨が強くならないことを祈りながら、朝食を準備して食べ終え、着替えをして、気合を入れて、丁度7時頃に家を出ました。万才区は7時からの清掃ということなので、最初に向かいます。7:15くらいに公民館に着いたのですが、もう、殆どの方が戦利品の仕分け中でした。小学生も数人見かけました。子ども達が一緒に参加してくれるのはとても嬉しいですね。中学生や高校生に、それから大人になるまでその習慣が続いてくれたらいいなと思いながら、万才区を後にしました。



五代区では、公民館に区長がおられ「今からです。」と言われましたが、先に進んでいくと、傘を右手に、レジ袋を左手に持った方と会いました。「ここは、それぞれがゴミを拾いながら公民館を目指すのが普通になっている。」と話していただきました。それから、人影を探しながら式浪を上流部へ向かっていると、「うちの班はだいでん早かけん、もう済んだばい！」と池田班長さんに出会いました。



しばらく、式浪の公民館で班長さんたちが持ってくるゴミの集まり具合を見て、南上区へ向かいました。ここでも、ほぼゴミ拾いそのものは終盤で、山口区長夫婦が仲良くゴミの仕分け作業中でした。事務局として校区内を回りながら、毎回感じるのは、コミュニティからのお願いとはいえ、校区内の方々が協力していただくことにとても喜びを感じます。



参加していただいた皆さん、そぼ降る雨の中、ご協力いただき大変有り難うございました。ゴミそのものは、もうずいぶん少なくなった、と皆さん言われます。それでも、久しぶりに顔を合わせる人たちの”安否確認““みたいになったとしても、今後も続けていくことは大切ではないかと思います。末永くご協力をお願いいたします。

へへ編集後記へへ

「老いるショック」

今回の「きずな」の編集後記の見出しを「老いるショック」にしようと思っていたら、なんと、数日前の佐賀新聞の有明抄中にもその言葉があつて、インパクトがなくなつてしまいました。でも、そういう邪魔者にもへこたれず……。

本物の「オイルショック」は、私の学生時代でした。色々なものが買い占められ、金を持たない学生は、テレビの報道を心配しながら見ているばかりで、就職が決まった先輩は、企業から紙切れ1枚で自宅待機を告げられたりして、可哀そうだと思つて、そんなこともあつて、公務員を希望した記憶があります。

今回は、「老いるショック」です。70才を過ぎたので当然だと思われちゃうのが、私は「老化」が一番嫌なことだ、と恐れていましたので、毎日まいにちアンチエイジングのつもりで、走り続け、膝を痛めて走れなくなつてからは歩いてきました。たまたま具合が悪くなつて医者に見てもらうと、原因の殆どが「加齢によるもの」です。一言。

言い返す言葉無くし、また効果的な対策もあまり思いつかばらず、寂しい日々を過ごすばかりです。それでも、寒いうちに歩数を貯めておこうと、整形外科に通いながらも、2月は一日平均一万六千歩弱歩きました。

それなのに、普通につまずいてしまいます、口惜しい！